MESSAGE FROM President
経営者インタビュー

株式会社 ヒロホールディングス

8年 連続掲載

心震わす感動で創る笑顔あふれる毎日

代表取締役　向山 孝弘 氏

奈良県生まれ。近畿大学法学部を卒業後、ホテル業界に3年就業ののち、前身であるヒロコーポレーションを創業。「全てはみんなの笑顔のために」をスローガンに多角的に業務を展開。2021（令和3）年、社名をヒロホールディングスへ。2022（令和4）年9月TOKYO PRO Marketに上場を果たす。

所在地	奈良県香芝市瓦口2315　香芝木材壱番館ビル3F
設立	1990（平成2）年12月
従業員数	87名
売上高	23億7,000万円［2024（令和6）年8月期］
事業内容	モバイルキャリアショップ事業、DX関連商品開発ブランド［Zeta（ゼータ）］事業、革・アパレルブランド［Rebonally（リボナリー）］事業ほか
URL	https://www.kk-hiro.com/

企業公式サイト

地方創生を目指して まず奈良の活性化を

一昨年度、私たち株式会社ヒロホールディングスはTOKYO PRO Marketに上場いたしました。奈良県では18年ぶりの新規上場ということで、内外のみなさまに大きく注目いただき、喜びと大きな責任を感じております。上場により当社の果たすべき役割も大きく変わり、これまで以上に多くのスタートアップ企業、ベンチャー企業のみなさまとも交流を深めることができました。官民問わず多くのみなさまとかかわる機会をいただいたことに感謝しています。

ご存じのように、現在の日本は東京の一極集中となっています。これでは、地方に住むみなさまの笑顔はいずれ枯れてしまう。私たちはそのように懸念しています。「全てはみんなの笑顔のために」をスローガンにしている当社にとって、地域の活性化は大きなテーマです。私たちはまず、奈良発祥の企業として、この奈良の地を活性化していくことに力を注いでいます。

かかわる人を笑顔にしたい 地方から日本、さらに世界へ

当社発祥の地である奈良県は、悠久の歴史と豊かな文化財を有しながらも、就職する企業のバリエーションが少ないため、当地で学んだ優秀な学生さんは都会へ流出してしまうのが現状です。地方ならではのこの悩みに、当社は雇用の機会を創出し、多様な才能を発揮してもらうことで、当地の魅力を発信し、地域活性化の一翼を担いたいと思っています。

そのため現在私たちが柱としている試みは大きく2つ。これらは学生のみなさんの雇用の機会ともなり、県内の優れたものに目を向け広くアピールするきっかけともなるもの。やがては人を集め経済を動かし、この地で働く人も、訪れる人も笑顔にする、地域活性化の要です。

その1つはデジタルアーカイブ事業。360度カメラやドローン、点群、フォトグラメトリー、といった特殊な技術を駆使してデジタルアーカイブで文化財の構造を3DCG化する取り組みです。これは重要文化財を含む貴重な国民的財産を、永久にデジタル保存できる期待の技術で、大災害が起こったときには修復に欠かせない貴重な資料ともなります。当社はすでにこれらの企画・撮影から3DCG化までをワンストップ対応で請け負うことが可能です。

2つ目の柱は映像による空間演出です。CG（コンピューターグラフィック）で作ったプロジェクションマッピングをはじめ、AR・VRなどを活用し、ホテルや歴史的建造物などに、人の心に訴えるイメージを映像化し投影することで、想像力を刺激して、驚きや笑顔を呼び起こす試みです。単なる画像・動画の投影ではなく、土地の歴史と魅力をみなさまにお届けすることが目的なので、あくまで当地の歴史に触れていただくための映像であることを志しています。

新しいステージへ向かう 当社に注目いただきたい

この2本の柱に加えさらに新しい動き、たとえば大和発祥の伝統芸能の能とデジタル映像を融合した試みや、ドローンショー、イルミネーションライティングなど、エンターテイメント性に重きを置いた事業にも次々着手しています。いまやこのような分野への最先端技術の応用は無限ともいえ、私たちが多くのベンチャー企業、スタートアップ企業との出会いに心躍らせている背景でもあります。従来当社はモバイル事業、Rebonally事業、レンタル会議室など多様な形態の事業に携わってきました。それら一層の充実とともに、今後はお話してきたようなDX関連の技術を駆使したZeta事業に注力していきたいと思っています。働く方にとっても、さまざまな形でのかかわり方が増えるはずです。また正社員のみでなく、撮影技術などをもったフリーランスとしての契約も可能です。だれもが自分らしく働くための、選択肢を数多く携えた企業として、今後一層当社にご注目いただければと思っています。